

変形症学会総会，大津，2000年，4月20，21日。

34) 飯田明彦，小野和宏，今井信行，高木律男，濱本宜興，小林正治，朝日藤寿一，毛利環，田中みか子，櫻井直樹，野村章子，清水 光：歯牙移植，歯科インプラントを応用した顎裂部の咬合再建．第24回日本口蓋裂学会総会，東京，2000年，6月12，13日。

35) 小林正治，本間克彦，泉 健次，山田一尋，林 孝文，新垣 晋：下顎後退症患者の顎関節症状とCT画像所見の検討．第13回日本顎関節学会総会，福岡，2000年，6月28，29日。

36) 林 孝文，伊藤寿介，小山純一，小林富貴子，小林正治，小林龍彰，櫻井直樹，田口直幸，山田一尋，鈴木政弘：開口障害を有する症例のCT所見．第13回日本顎関節学会総会，福岡，2000年，6月28，29日。

37) 小野和宏，今井信行，高木律男，濱本宜興，小林正治：歯牙移植，歯科インプラントを応用した顎裂部の咬合再建．第53回日本形成外科学会新潟地方会，新潟，2000年，7月10日。

38) 小林正治，本間克彦，加納浩之，新垣 晋：最近2年間にWassmund法による上顎前歯部歯槽骨切り術を施行した上顎前突症5例の検討．第53回日本形成外科学会新潟地方会，新潟，2000年，7月10日。

39) 小林正治，河野正己，新垣 晋，山口貞博，泉 直也，石黒慶史：パルスオキシメトリーによる睡眠呼吸障害のスクリーニング検査法の検討．第45回日本口腔外科学会総会，千葉，2000年，10月12，13日。

40) 小野由起子，高田真仁，星名由紀子，新垣 晋，中島民雄：下顎枝内側の嚢胞に起因すると思われる下顎骨周囲炎の一例．第26回日本口腔外科学会北日本地方会，盛岡，2000年4月27，28日。

41) 宮 琳，星 和人，中島民雄，坂井日出男，監物新一，江尻貞一，小澤英浩：BMP-2により誘導される異所性骨に対するbisphosphonate YM 175の影響．第18回日本骨代謝学会，広島，2000年7月21日．日骨代謝誌 18(2) 293, 2000.

42) 宮 琳，星 和人，中島民雄，坂井日出男，監物新一，江尻貞一，小澤英浩：BMP-2により誘導される異所性骨に対するbisphosphonate YM 175の影響．平成12年度新潟歯学会第2回例会，新潟，2000年11月11日。

#### 【研究会発表】

1) 鈴木一郎，野村修一，小林 博：コンピュータネットワークを利用した在宅歯科診療支援システム．日本エム・イー学会専門別委員会「在宅医療とME技術」研究会，新潟，2000年10月14日。

2) 泉 直也：下顎頰部に発生した巨大な血管腫の一例．第47回新潟口腔外科麻酔科集談会，新潟，2000年11月16日。

3) 新垣晋：口腔癌治療の現況，第60回新潟癌治療研究会，新潟，2000年7月15日。

#### 【受賞】

1) 2000年度(第2回)日本組織細胞化学会論文賞. Izumi N, Amizuka N, Oda K, Misumi Y, Ikehara Y, Ozawa H: Ultrastructural Alteration of Osteoclasts Treated with Brefeldin A and Wortmannin. Acta. Histochem Cytochem 32: 393-405, 1999.

#### 【その他】

1) 高田真仁：口腔外科小手術の臨床(2)歯牙移植について．平成12年度歯科臨床研修医セミナー，新潟，2000年9月20日。

2) 泉健次：ヒト培養口腔粘膜の臨床応用について．病棟看護婦研修会，新潟，2000年3月12日。

3) 鈴木一郎：旭町キャンパスのネットワーク事情．新潟大学総合情報処理センター年報，11: 3-11, 2000.

4) 鈴木一郎：歯学部附属病院の新しい医療情報システム．新潟大学歯学部ニュース，92: 33-39, 2000.

5) 鈴木一郎：ネットワークを利用したリアルタイム；オンデマンドビデオ．新大学報 No 638: 8, 1999

6) 小林正治：口腔外科小手術の臨床(1)平成12年度歯科臨床研修セミナー．新潟，2000年6月14日

### 口腔外科学第二講座

#### 【論文】

1) Yukihiko Fujimori, Jun Cheng, Makoto Suzuki, Ritsuo Takagi, Takashi Saku: Histologic evaluation of incisional biopsy sample of pleomorphic adenoma of the palate: A technical guidance for successful pathologic diagnosis. Oral Med Pathol, 5(1) 25-28, 2000.

2) Ohshima, H., Ajima, H., Kawano, Y., Nozawa-Inoue, K., Wakisaka, S. and Maeda, T.: Transient expression of heat shock protein (Hsp) 25 in the dental pulp and enamel organ during odontogenesis in the rat incisor. Arch. Histol. Cytol. 63(4) 381-395, 2000

3) Ishii, K., Arai, T., Saito, I., Morita, S., Hanada, K., Ono, K., Takagi, R.: Effects of Hotz' plate-based two-stage palatoplasty in unilateral cleft lip and palate - A comparative study of subjects treated with one-stage palatoplasty, and normal subjects-. Orthodontic Waves, 59(6): 402-406, 2000.

4) Atsumi, Y., Ajima, H., Maeda, T., Kurisu, K. and Wakisaka, S.: Delayed expression of calbindin D28k during regeneration of the periodontal Ruffini endings of the rat incisor following injury to the inferior alveolar nerve. Cells Tissues Organs (Acta. Anat.)

167(4) 285-289, 2000

5) Hayatsu, M., Takagi, R., Ono, K., Nagata, M., Iida, A., Ohashi, Y.: Morphological and developmental characteristics of the maxillary incisor associated with alveolar cleft in CL/Fr strain mice. *Journal of Cranio-Maxillofacial Surgery*, 28 Suppl. (1) 33-34, 2000.

6) Iida, A., Ono, K., Takagi, R., Imai, N., Hayatsu, M., Ohashi, Y., Izumi, K.: Spontaneous size reduction of the residual cleft after soft palate repair can reduce the surgical damages at the hard palate closure in two-stage palatoplasty. *Journal of Cranio-Maxillofacial Surgery*, 28 Suppl. (1) 38, 2000.

7) Ono, K., Iida, A., Imai, N., Hayatsu, M., Takagi, R., Ohashi, Y., Asahito, T., Ishii, K., Morita, S., Hanada, K.: Effects of two-stage palatoplasty on maxillary growth - Comparisons of permanent dentition with patients treated by one-stage palatoplasty and non-cleft normal subjects. *Journal of Cranio-Maxillofacial Surgery*, 28 Suppl. (1) 56-57, 2000.

8) Fujimori Y., Hao N., Cheng J., Iida A., Takagi R., Saku T.: Keloid or Hyperplastic Scar?. *Oral Med Pathol*, 5: 125, 2000.

9) 中條智恵, 高田真仁, 新垣 晋, 中島民雄, 星名秀行, 高木律男: 40歳未満の口腔扁平上皮癌患者28例の臨床的検討. *日口外誌*. 46(5) 262-264, 2000.

10) 星名秀行, 井上達夫, 鶴巻 浩, 小野和宏, 長島克弘, 宮浦靖司, 高木律男, 鈴木 誠: 外側咽頭後リンパ節転移をきたした中咽頭癌に温熱化学放射線療法が奏効した1例. *新潟歯学会雑誌*. 30(1):43-47, 2000.

11) 境 忠彦, 高木律男, 鍛冶昌孝, 福田純一, 服部幸男, 河田 匠, 野村裕行: 両側性咬筋肥大症の1例. *日顎変形誌*. 10(2):134-138, 2000.

12) 飯田明彦, 高木律男, 星名秀行, 小野和宏, 鍛冶昌孝, 鶴巻 浩, 福田純一, 長島克弘, 宮浦靖司, 早津誠, 宮本 猛: 高齢口腔癌患者に対するUFT200mg投与時の血清中, 腫瘍組織内5-FU濃度. *癌と化学療法*. 27(10):1527-1532, 2000.

13) 藤田 一, 小野和宏, 永田昌毅, 飯田明彦, 今井信行, 高木律男, 大橋 靖: 染色体異常を有する口唇・口蓋裂患者の病態ならびに治療について. *日口外誌*. 46(9) 519-526, 2000.

14) 中條智恵, 泉 健次, 新垣 晋, 中島民雄, 林 孝文, 鈴木 誠: 新生児に発生した舌下型ガマ腫の1例. *日口外誌*. 46(9) 536-538, 2000.

15) 宮本 猛, 高木律男, 星名秀行, 林 孝文, 小田陽平, 朔 敬: 硬口蓋筋上皮腫の1例: 造影CTによる多形性腺腫との鑑別診断. *日口外誌*. 46(10) 590-592, 2000.

16) 羽尾奈津子, 井上達夫, 今井信行, 益子典子: 臨床

病理検討会レポート 第19回 舌癌. *新潟歯学会誌*. 30(2): 65-68, 2000.

17) 前新直志, 山田好秋, 磯野信策: タッピングによる吃音者の精神テンポの分析および発話との関係. *音声言語医学*. 41(4)352-364, 2000.

18) 星名秀行, 高木律男, 鶴巻 浩, 長島克弘, 宮浦靖司, 藤田 一, 宮本 猛, 相馬 陽, 飯田明彦, 永田昌毅, 鍛冶昌孝: 進行頭頸部癌に対する温熱化学放射線療法の治療成績. *癌と化学療法*. 28(3):331-336, 2001.

19) 相馬 陽, 高木律男, 星名秀行, 宮浦靖司, 長島克弘, 宮本 猛: 歯源性腫瘍の臨床統計的検討; 23年間110症例について. *日口外誌*. 47(2):109-112, 2001.

20) 碓井由紀子, 深澤 肇, 井上達夫, 境 忠彦, 渡辺千鶴子, 佐藤和子, 新堀房美: 歯科口腔外科の診療現況 第4報. *由利組合総合病院医報*. 11: 2000.

21) 西原義之, 深澤 肇, 碓井由紀子, 井上達夫, 渡辺千鶴子, 佐藤和子, 新堀房美: 歯科口腔外科の診療現況 第5報. *由利組合総合病院医報*. 12: 28-30, 2000.

22) 深澤 肇, 井上達夫, 境 忠彦, 南條 博: 最近経験したさまざまな唾石症. *由利組合総合病院医報*. 11: 2000

23) 深澤 肇, 西原義之, 碓井由紀子: 歯科治療の陰に潜む悪性腫瘍, *由利組合総合病院医報*. 12: 13-15, 2000.

24) 深澤 肇: 頭頸部悪性腫瘍に対するelectrosurgical dissectionによる手術療法. *日本病院歯科口腔外科協議会雑誌*. 2000.

25) 小野和宏, 飯田明彦, 今井信行, 福田純一, 早津誠, 高木律男, 新井 透, 朝日藤寿一, 石井一裕, 森田修一, 花田晃治, 大橋 靖: 二段階口蓋形成手術法を施行した片側性唇顎口蓋裂児の永久歯列形態 一段階法施行例および健常児との比較. *日口蓋誌*, 25(1):36-44, 2000.

#### 【商業誌】

1) 野澤 - 井上佳世子, 高木律男, 前田健康: 顎関節滑膜の形態, *クインテッセンス*. 19(10) 35-46, 2000

#### 【研究成果報告書】

1) 高木律男: 日本人口唇裂口蓋裂患者の遺伝学的研究 分子生物学的分析. 平成9-12年度科学研究費補助金 基盤研究(A)(2)研究成果報告書 課題番号09307048 2001年3月

2) 花田晃治, 山田好秋, 前田健康, 高木律男: 歯学教育改革の推進, 平成12年度教育 研究改革・改善プロジェクト事業経費

#### 【学術講演・シンポジウム】

1) 高木律男: 慢性経過をたどる顎関節症に対する取り

組み・口腔外科的なアプローチ．第5回日本頭蓋下顎障害学会学術大会，新潟市，2000年10月1日．

#### 【学会発表】

1) R.Takagi, K. Ono, A. Iida, Y. Ohashi : Spontaneous size-reduction of the residual cleft after soft palate repair can reduce the surgical damages at the hard palate closure in the two-stage palatoplasty. The 4th Asian Congress on Oral and Maxillofacial Surgery, Cheju Island, Korea, June 6-10, 2000.

2) Hayatsu M., Nagata M., Ono K., Iida A., Takagi R., Ohashi Y.: Morphological and developmental characteristics of the maxillary incisor associated with alveolar cleft in CL/Fr strain mice. 1st World Cleft Congress of the International Cleft Lip and Palate Foundation (Cleft 2000) Zurich, Switzerland, July 1-5, 2000. Journal of Cranio-Maxillofacial Surgery, Vol.28 Suppl. (1) 33-34, 2000.

3) Ono, K., Iida, A., Imai, N., Hayatsu, M., Takagi, R., Ohashi, Y., Asahito, T., Ishii, K., Morita, S., Hanada, K.: Effects of two-stage palatoplasty on maxillary growth - Comparisons of permanent dentition with patients treated by one-stage palatoplasty and non-cleft normal subjects. 1st World Cleft Congress of the International Cleft Lip and Palate Foundation (Cleft 2000) Zurich, Switzerland, July 1-5, 2000. Journal of Cranio-Maxillofacial Surgery, Vol.28 Suppl. (1) 56-57, 2000.

4) Akihiko Iida, Kazuhiro Ono, Ritsuo Takagi, Nobuyuki Imai, Makoto Hayatsu, Yasushi Ohashi, Kenji Izumi: Spontaneous size reduction of the residual cleft after soft palate repair can reduce the surgical damages at the hard palate closure in two-stage palatoplasty. 1st World Cleft Congress of the International Cleft Lip and Palate Foundation (Cleft 2000) Zurich, Switzerland, July 1-5, 2000. Journal of Cranio-Maxillofacial Surgery, Vol.28 Suppl. (1) 38, 2000.

5) R.Takagi, K.Ono, T.Kobayashi, Honma: Distraction Osteogenesis for alveolar and jaw bones. JAPAN-RUSIA international medical symposium VIII, Blagoveschensk, Russia, September 21-22, 2000.

6) 羽尾奈津子, 程 君, 木村 信, 依田浩子, 坂井英昭, 織田公光, 高木律男, 朔 敬: 骨形成過程における基底膜型ヘパラン硫酸プロテオグリカンの発現. 第89回日本病理学会総会, 大阪, 2000年4月13日.

7) 青山玲子, 高木律男, 福田純一, 中野 久, 星名秀行, 小野和宏, 鍛冶昌孝, 永田昌毅, 飯田明彦, 今井信行, 小林龍彰, 福西雅史: 最近10年間の新潟大学歯学部附属病院第二口腔外科入院患者の臨床統計学的検討. 第

33回新潟歯学会総会, 新潟市, 2000年4月15日. 新潟歯学会誌, 30(1):101, 2000.

8) 鶴巻 浩, 星名秀行: 新潟中央病院歯科口腔外科開設後3年6か月間における来院患者の臨床統計的観察. 第33回新潟歯学会総会, 新潟市, 2000年4月15日. 新潟歯学会誌, 30(1):101-102, 2000.

9) 鍛冶昌孝, 高木律男, 福田純一, 野村裕行, 境 忠彦, 田中 礼, 花田晃治: 口蓋裂患者に対する上顎前方移動術が鼻咽腔閉鎖機能に及ぼす影響について. 第10回日本顎変形症学会, 大津市, 2000年4月20-21日. 日顎変形誌, 10(2):184, 2000.

10) 毛利 環, 関 康弘, 森田修一, 花田晃治, 本間克彦, 小林正治, 中島民雄, 福田純一, 鍛冶昌孝, 高木律男: 下顎前方移動術のオーバーコレクションを可能とする術前矯正治療術式の考案. 第10回日本顎変形症学会, 大津市, 2000年4月20-21日. 日顎変形誌, 10(2):172, 2000.

11) 武藤祐一, 笠井 直栄: 当科におけるオトガイ形成術の臨床的検討. 第10回日本顎変形症学会総会, 大津市, 2000年4月20-21日. 日顎変形誌, 10(2):204, 2000.

12) 田中 礼, 高木律男, 鍛冶昌孝, 福田純一, 野村裕行, 八巻正樹, 野村章子: 上下顎移動術を施行した部分無歯症の1例. 第10回日本顎変形症学会, 大津市, 2000年4月20-21日. 日顎変形誌, 10(2):196, 2000.

13) 中條智恵, 小林正治, 加納浩之, 本間克彦, 中島民雄, 鍛冶昌孝, 高木律男, 寺田眞人, 花田晃治: 顎変形症患者への術後アンケート結果. 第10回日本顎変形症学会, 大津市, 2000年4月20-21日. 日顎変形誌, 10(2):187, 2000.

14) 山田秀樹, 竹山雅規, 布田花子, 森田修一, 花田晃治, 本間克彦, 小林正治, 中島民雄, 鍛冶昌孝, 高木律男: 上顎前方歯槽骨切り術(Wassmund法)による軟組織側貌の変化 矯正単独症例との比較. 第10回日本顎変形症学会, 大津市, 2000年4月20-21日. 日顎変形誌, 10(2):225, 2000.

15) 山田裕士, 星名秀行, 永田昌毅, 藤森行彦, 高木律男, 鈴木 誠, 朔 敬: 基底細胞母斑症候群の1症例. 第26回(社)日本口腔外科学会北日本地方会, 盛岡市, 2000年4月27日.

16) 藤森行彦, 程 君, 鈴木 誠, 星名秀行, 高木律男, 朔 敬: 口蓋多形性腺腫の生検採取法に関する考察. 第26回(社)日本口腔外科学会北日本地方会, 盛岡市, 2000年4月27日.

17) 宮浦靖司, 星名秀行, 長島克弘, 宮本 猛, 高木律男, 高田眞仁, 新垣 晋, 中島民雄: 頭頸部粘表皮癌24例の臨床病理学的検討. 第54回日本口腔科学会総会, 東京, 2000年5月12日.

18) 福田純一, 高木律男, 鍛冶昌孝, 小野和宏, 飯田明

- 彦, 今井信行, 田中 礼, 花田晃治: 顎骨間での顎間固定を行った下顎枝垂直骨切り術施行症例の検討 固定中の骨片および歯への影響 .第54回日本口腔科学会総会, 東京, 2000年5月12, 13日.
- 19) 今井信行, 碓井由紀子, 高木律男, 小野和宏, 永田昌毅, 飯田明彦, 早津 誠: 顎裂部腸骨移植術後の患側側切歯の萌出状況について .第54回日本口腔科学会総会, 東京, 2000年5月12, 13日.
- 20) 木村 威, 小林龍彰, 高木律男, 小野和宏, 藤田一, 田中 礼: 手術により機能障害の改善を見た茎状突起過長症の1例. 第54回日本口腔科学会総会, 東京, 2000年5月12, 13日.
- 21) 深澤 肇, 西原義之: 口腔癌に対するElectrosurgical Dissectionの臨床的検討, 第5報 : 予後および文献的検討, 第54回日本口腔科学会総会 東京, 2000年5月12, 13日.
- 22) 藤内 祝, 上田 実, 大部一成, 大石正道, 大関悟, 星名秀行, 高木律男, 田中 彰, 又賀 泉: 口腔悪性腫瘍に対する温熱療法の現況 多施設共同研究 .第54回日本口腔科学会総会, 東京, 2000年5月12, 13日.
- 23) 鳥養葉子, 森田修一, 朝日藤寿一, 花田晃治, 小野和宏, 高木律男: 正中唇顎裂の1例. 甲北信越矯正歯科学会, 2000.
- 24) 小野和宏, 飯田明彦, 今井信行, 高木律男, 新井透, 石井一裕, 朝日藤寿一, 森田修一, 花田晃治, 大橋靖: イブニングセミナー 5. Hotz床併用二段階口蓋形成手術法を施行した片側性唇顎口蓋裂児の顎発育. 第24回日本口蓋裂学会総会, 東京, 2000年6月12, 13日. 日本口蓋裂学会雑誌, 25(2) 89, 2000.
- 25) 小野和宏, 高木律男, 飯田明彦, 今井信行, 朝日藤寿一, 石井一裕, 森田修一, 花田晃治: Furlow法を施行した口蓋裂児の混合歯列前期における顎顔面形態について. 第24回日本口蓋裂学会総会, 東京, 2000年6月12, 13日. 日本口蓋裂学会雑誌, 25(2) 114, 2000.
- 26) 飯田明彦, 小野和宏, 今井信行, 高木律男, 浜本宣興, 小林正治, 朝日藤寿一, 毛利 環, 田中みか子, 櫻井直樹, 野村章子, 清水 光: 歯牙移植, 歯科インプラントを応用した顎裂部の咬合再建. 第24回日本口蓋裂学会総会, 東京, 2000年6月12日. 日本口蓋裂学会雑誌, 25(2) 94, 2000.
- 27) 朝日藤寿一, 石井一裕, 森田修一, 花田晃治, 小野和宏, 高木律男: Hotz床併用二段階口蓋形成術の矯正治療に及ぼす効果について. 第24回日本口蓋裂学会総会, 東京, 2000年6月12, 13日. 日本口蓋裂学会雑誌, 25(2) 107, 2000.
- 28) 鳥養葉子, 森田修一, 石井一裕, 花田晃治, 小野和宏, 今井信行, 高木律男, 林 孝文: Hotz床併用二段階口蓋形成手術法施行患者の新鮮自家腸骨海綿骨細片移植術の評価 X線CTを用いて .第24回日本口蓋裂学会総会, 東京, 2000年6月12, 13日. 日本口蓋裂学会雑誌, 25(2) 203, 2000.
- 29) A.Silvera, 石井一裕, 新井 透, 森田修一, 小野和宏, 花田晃治, 高木律男: Effects of two-stage palatoplasty combined with Hotz's plate in bilateral cleft lip and palate. 第24回日本口蓋裂学会総会, 東京, 2000年6月12, 13日. 日本口蓋裂学会雑誌, 25(2) 106, 2000.
- 30) 深澤 肇: 頭頸部癌に対するp53標識別集学的治療. 第24回日本頭頸部腫瘍学会総会, 東京, 2000年6月14日.
- 31) 小林龍彰, 高木律男, 安島久雄, 井上達夫, 西原義之, 大島 賢, 鈴木英弘: 顎関節症患者の顎関節滑膜組織の観察. 第13回日本顎関節学会総会, 福岡市, 2000年6月29, 30日.
- 32) 林 孝文, 伊藤寿介, 小山純市, 小林富貴子, 小林正治, 小林龍彰, 櫻井直樹, 田口直幸, 山田一尋, 鈴木政弘: 開口障害を有する症例のCT所見. 第13回日本顎関節学会総会, 福岡市, 2000年6月29, 30日.
- 33) 大島 賢, 高木律男, 小林龍彰, 井上達夫, 西原義之, 鈴木英弘: IIIa症例のリコールによる長期予後の検討 50歳以上の症例について .第13回日本顎関節学会総会, 福岡, 6月29日, 30日, 2000年.
- 34) 鳥養葉子, 森田修一, 朝日藤寿一, 花田晃治, 小野和宏, 高木律男: 正中唇顎裂の1例. 第15回甲北信越矯正歯科学会, 新潟市, 2000年7月2日. 同抄録集: 25, 2000.
- 35) 羽尾奈津子, 程 君, 高木律男, 朔 敬: 骨形成過程における基底膜型ヘパラン硫酸プロテオグリカンの発現. 新潟歯学会平成12年度第1回例会, 新潟市, 2000年7月8日.
- 36) 飯田明彦, 小野和宏, 今井信行, 高木律男, 浜本宣興, 小林正治: 歯牙移植, 歯科インプラントを応用した顎裂部の咬合再建. 第53回日本形成外科学会関東支部新潟地方会, 新潟市, 2000年7月10日.
- 37) 羽尾奈津子, 星名秀行, 高木律男, 朔 敬: 下顎骨腫瘍. 第11回日本口腔病理学会・学術大会, 横浜, 2000年8月25日.
- 38) 藤森行彦, 高木律男, 朔 敬: 唾液腺腺様嚢胞癌における偽嚢胞の成立機序 基底膜関連分子産生担当細胞の同定 .第89回日本病理学会総会, 横浜, 2000年8月25日.
- 39) 星名秀行, 高木律男, 鶴巻 浩, 長島克弘, 宮本猛: シンボジウム ハイパーサーミアの治療成績 現状と問題点: 進行・再発頭頸部癌の温熱化学放射線療法 各背景因子からみた治療成績 .日本ハイパーサーミア学会第17回大会, 新潟市, 2000年9月9日.
- 40) 長島克弘, 高木律男, 星名秀行: 温熱療法の頸部リンパ節転移に及ぼす影響. 日本ハイパーサーミア学会第

17会大会, 新潟市, 2000年9月8日.

41) 児玉泰光, 斉藤有子, 落合幸江, 若菜茂晴, 丹羽太貫, 木南 凌: 放射線誘発マウス胸腺リンパ腫の感受性・抵抗性遺伝子座 連鎖解析およびコンジェニックマウスを用いた5番染色体上の検索. 第59回日本癌学会総会, 横浜市, 2000年10月4日.

42) 落合幸江, 斉藤有子, 児玉泰光, 若菜茂晴, 丹羽太貫, 木南 凌: マウス放射線誘発胸腺リンパ腫の感受性・抵抗性遺伝子座 連鎖解析およびコンジェニックマウスを用いた2番・4番染色体上の検索. 第59回日本癌学会総会, 横浜市, 2000年10月4日.

43) 若林雄一, 松木淳, 高橋由明, 岡野日登美, 宮澤智徳, 落合幸江, 児玉泰光, 木南 凌: 新規がん遺伝子・Rit1のポジショナルクローニング. 第73回日本生化学会総会, 横浜市, 2000年10月11日.

44) 宮本 猛, 星名秀行, 飯田明彦, 福田純一, 宮浦靖司, 高木律男, 鈴木 誠, 朔 敬: 5歳児に発生した下顎エナメル上皮腫の1例. 第45回(社)日本口腔外科学会総会, 千葉市, 2000年10月12, 13日.

45) 碓井由紀子, 高木律男, 小野和宏, 鍛冶昌孝, 永田昌毅, 飯田明彦, 今井信行, 福田純一, 藤田 一, 早津誠, 青山玲子: Hotz床併用二段階口蓋形成手術例に対する顎裂部への二次的腸骨移植の成績. 第45回(社)日本口腔外科学会総会, 千葉市, 2000年10月12, 13日.

46) 藤田 一, 永田昌毅, 小野和宏, 飯田明彦, 今井信行, 高木律男, 大橋 靖: 日本人口唇・口蓋裂患者の分子遺伝学的研究 19番染色体上の遺伝子マーカーを用いた連鎖解析. 第45回日本口腔外科学会総会, 千葉市, 2000年10月12日.

47) 深澤 肇: p53標識別頭頸部癌集学的治療法の検討 第3報 p53陰性症例について, 第45回(社)日本口腔外科学会総会, 千葉市, 2000年10月12日.

48) 今井信行, 高木律男: 鼻咽腔閉鎖機能と口唇閉鎖機能との関連性 構音点の違いによる検討. 第45回日本音声言語医学会総会, 京都, 2000年11月9-10日.

49) 安島久雄, 河野芳朗, 高木律男, 前田健康: 抜歯による三叉神経節における神経栄養因子とその受容体の経時的変動. 新潟歯学会平成12年度第2回例会, 新潟市, 2000年11月11日. 新潟歯学会雑誌, 30(2):2000.

50) 安島久雄, 河野芳朗, 高木律男, 前田健康: 歯髄組織におけるglial fibrillary acidic protein (GFAP) 免疫反応について. 新潟歯学会平成12年度第2回例会, 新潟市, 2000年11月11日. 新潟歯学会雑誌, 30(2):2000.

51) 松本文男, 鈴木英弘, 相馬 陽, 飯田明彦, 小野和宏, 高木律男: 脳外科手術における歯科口腔外科的アプローチ. 新潟歯学会平成12年度第2回例会, 新潟市, 2000年11月11日. 新潟歯学会雑誌, 30(2): 2000.

52) 福西雅史, 星名秀行, 長島克弘, 宮本 猛, 相馬

陽, 高木律男: 口底癌, 舌癌一次再建術例の臨床的検討. 第54回日本形成外科学会関東支部新潟地方会, 新潟市, 2000年11月13日.

53) 泉 健次, 芳澤享子, 鈴木一郎, 新垣 晋, 飯田明彦: ヒト新鮮屍体真皮AlloDermの使用経験. 第54回日本形成外科学会関東支部新潟地方会, 新潟市, 2000年11月13日.

54) 鈴木 誠, 朔 敬: 口腔細胞診の診断精度に関する検討. 第39回日本臨床細胞学会秋期大会, 大宮市, 2000年11月17-18日. 同抄録集 497, 2000. 12. 13.

55) 鈴木英弘, 高木律男, 今井信行, 長島克弘, 宮本猛: 多剤薬物アレルギーを有する小児顎放線菌症の1例. 第12回日本小児口腔外科学会総会, 東京, 2000年11月25日.

56) 深澤 肇: 扁平苔癬が癌化した口唇癌の1例, 第170回日本口腔外科学会関東地方会, 東京, 2000年12月2日.

57) 福西雅史, 星名秀行, 長島克弘, 宮浦靖司, 藤田 一, 宮本 猛, 相馬 陽, 高木律男: 口底癌, 舌癌一次再建術例の臨床的検討. 第19回日本口腔腫瘍学会総会, 宇都宮市, 2001年1月25日.

58) 宮本 猛, 高木律男, 小野和宏, 星名秀行, 飯田明彦, 早津 誠: 口唇部腫瘍性病変に対する外科的アプローチ. 第55回日本形成外科学会関東支部新潟地方会, 新潟市, 2001年2月26日.

#### 【研究会発表】

1) 鈴木真由美, 磯野信策, 寺尾恵美子: 会話明瞭度が著しく低く難聴を伴った両側性唇顎口蓋裂例. 第83回新潟言語障害児懇談会, 新潟市, 2000年6月7日.

2) 小野和宏, 飯田明彦, 今井信行, 高木律男, 朝日藤寿一, 石井一裕, 森田修一, 花田晃治: Hotz床併用二段階口蓋形成手術法を施行した片側性唇顎口蓋裂児の顎發育 永久歯列期の咬合状態について. 第39回新潟県小児保健研究会 こどもの健康週間, 新潟市(県庁), 2000年9月1日. 抄録集: 4-5, 2000.

3) 高木律男, 飯田明彦, 小野和宏: 顎裂部骨移植のポイント 8. インプラント・歯牙移植の比較. 第8回口蓋裂公開勉強会, 千葉, 2000年10月12日. 抄録集: 36-38, 2000.

4) 児玉泰光, 斉藤有子, 落合幸江, 若菜茂晴, 丹羽太貫, 木南 凌: 放射線感受性遺伝子座の解析. 第7回新潟消化器病遺伝子・免疫研究会, 新潟市, 2000年10月20日.

5) 池田順行: 診断ならびに治療に苦慮した上唇小唾液腺悪性腫瘍の1例. 第47回新潟口腔外科麻酔科集談会, 新潟市, 2000年11月16日.

6) 磯野信策, 寺尾恵美子: 新潟大学歯学部附属病院言語治療室における最近16年間の診療と研究. 第87回新潟

言語障害児懇談会,新潟市,2000年11月18日.

7)磯野信策,荒井晶子,寺尾恵美子,鈴木真由美:10歳時に開鼻声を発症した1例.第87回新潟言語障害児懇談会,新潟市,2000年11月18日.

#### 【その他】

1)高木律男:唇顎口蓋裂母親教室.新潟市,2000年5月23日.

2)高木律男:平成12年度歯科臨床研修医セミナー(公開):顎関節症への外科的アプローチ.新潟市,2000年6月21日.

3)飯田明彦:口唇口蓋裂.長岡赤十字病院看護学校講義.長岡市,2000年9月5日.

4)高木律男:有病者の歯科治療(三条市歯科医師会・歯知(はち)の会学術講演).三条市,2000年9月7日.

5)星名秀行:平成12年度歯科臨床研修医セミナー 口腔癌の診断と治療.新潟市(新潟大学歯学部),2000年9月27日.

6)小野和宏:新潟大学歯学部附属病院口蓋裂診療班 第12回母親教室.新潟市(新潟大学歯学部),2000年10月17日.

7)高木律男:歯学祭学術講演会:顎関節症って何?.新潟市,2000年10月21日.

8)高木律男:佐渡歯科医師会講演会:顎関節症への地域での対応.両津市,2000年10月28日.

9)武藤祐一,笠井直栄:歯科救急処置について.上越市歯科医師会館,2000年11月7日.

10)小野和宏:平成12年度歯科臨床研修医セミナー 口唇裂口蓋裂の病態と治療.新潟市(新潟大学歯学部),2000年12月27日.

11)深澤肇:歯槽膿漏今昔物語 秋田しんせい農業協同組合広報誌38;18,2000.

### 歯科補綴学第一講座

#### 【論文】

1)Yamada K, Hanada K, Sulutana MH, Kohno S and Yamada Y: Relationship between frontal facial morphology and occlusal force in orthodontic patients with temporomandibular disorder, J Oral Rehabil 27(5) 413-421, 2000.

2)河野正司,岩片信吾:歯の喪失の予防 咬合の保全・確保,少数歯の残存と保全,日本歯科医学会雑誌19: 31-37, 2000.

3)渡辺誠,道脇幸博,河野正司,松久保隆,赤坂庸子,道健一,岩片信吾,眞木吉信,杉原直樹,平井義人,神部芳則,葉真寺美佐子,高橋禮子,佐々木啓一:高齢者の口腔ケアと口腔機能に関する総合研究,日

本歯科医学会雑誌 19: 42-53, 2000.

4)須田英明,砂川光宏,堀内博,浅井康宏,河野正司,戸田忠夫,井上清,久保吉廣ほか:感染症患者の診療に関する総合的研究,日本歯科医学会雑誌19: 64-74, 2000.

5)河野正司:下顎位を知る,群馬県歯科医学会雑誌4: 57-60, 2000.

6)Igarashi N, Yamamura K, Yamada Y, Kohno S: Head movements and neck muscle activities associated with the jaw movement during mastication in the rabbit, Brain Research 871(1) 151-155, 2000.

7)亀田紀夫,河野正司,安藤栄吾:咬合治療と同時に観察された喘息症状の改善例,新潟歯学会誌 30(1) 49-55, 2000.

8)山田一尋,小栗由充,昼間康明,花田晃治,澤田宏二,河野正司,林孝文,伊藤壽介:顎変形症患者における下顎頭骨形態,関節円板転位がタッピング運動に及ぼす影響,日本顎関節学会雑誌 12(1) 88-97, 2000.

9)河野世佳,河野正司:下顎タッピング運動時の頭部平衡運動の存在について(最近のトピックス),新潟歯学会誌 30(1) 69-70, 2000.

10)五十嵐直子:ウサギの咀嚼時に観察される下顎運動に協調した頭部運動と顎筋活動(学位研究紹介),新潟歯学会誌 30(1) 79-80, 2000.

11)金田恒,河野正司:咀嚼における片側遊離端義歯装着の意義(学位研究紹介),新潟歯学会誌 30(1)85-86, 2000.

12)Tanaka M, Ejiri S, Kohno S, Ozawa H: Region-specific bone mass changes in rat mandibular condyle following ovariectomy, J Dent Res 79(11) 1907-1913, 2000.

13)加藤一誠,河野正司,新井映子,林豊彦,山田好秋: Videofluorography の支援による有床義歯補綴治療,補綴誌 44(5) 625-632, 2000.

14)河野世佳,河野正司:下顎タッピング運動時の頭部平衡運動の存在について,補綴誌 44(5) 696-708, 2000.

15)鈴木政弘,河野正司:当科における顎関節症治療の臨床的検討,新潟歯学会誌30(2) 19-24, 2000.

16)鈴木政弘,岩片信吾,河野正司:慢性疼痛を有する変形性顎関節症に補綴学的な咬合安定化が有効であった1例(症例報告),新潟歯学会誌 30(2) 43-48, 2000.

17)豊岡英一,江尻貞一,河野正司,小澤英浩:歯の挺出に伴う歯槽骨変化とエストロゲン欠乏の影響に関する組織学的・組織形態学的研究(学位研究紹介),新潟歯学会誌30(2):77-78, 2000.

18)河野正司:咬合の異常とは 診査・診断はどこまで可能になったか 顎機能障害症例から学ぶ,日本歯科医学会雑誌 20: 108-112, 2001.